

毎年、金髪・ブルーアイがたくさ
んいるアメリカ、もしくはアメリカ
領に行っているが、今年の冬はあの
武漢関連騒ぎで行かなかった、とい
うが無理して行ってもウエルカム状
態にはならなかっただろう。

危機管理のアンテナ

アメリカ本土へはいつも、デルタ
航空のビジネスクラスのフルフラッ
トシートを使う。酒は飲み放題、あ
く極楽至極の時間だ。忘れてた、私
は下戸なので、デザートのアイスク
リームを楽しみにしている。

いつも現金で払いたいが、現実
は貯まったマイルを使うことが多い。
チケットはいつも年末に購入す
る。理由は安いからで、交換マイル
も好条件となる。例えば通常羽田と
ロサンゼルス間だと35万円以上す
るが、年末だと20万円前半になる。
エコノミーにプラス10万円で行ける
のだから食指が動くのも当然だろ
う。確かに10万円の差は重要な金額
だが、オジサン62キップは販売
していないし、基本仕事目的なので
マツタリさせてもらっている。

ただこの2年は事情が変わってき
た。12月に格安ビジネスクラスの販
売がなく、最近は何を明けて1月に
ならないと格安チケットが出てこな
いのだ。だからと言って困ることは

ない。アメリカ本土に
行く場合は1月下旬か
ら2月上旬を予定して
いるので、しつかりデ
ルタのウェブページを
覗く時間はある。

今回は12月末にアメ
リカツアーのホテル、
レンタカーの予約を済
ませた。ケンタッキー・
ルイビル・シヨウのホ
テルは10月にやった。
11月になるとほとんど
予約が取れないから
だ。年が明けてデルタ
のウェブページを覗く
とやつとビジネスクラ
スの価格も下がってき
た。1月15日になり、そろそろ購入
しようと考えたが、何か雰囲気がお
かしかった。

テレビでは武漢で怪しい集団感染
が発生したと報じていた。アメリカ
国務省も同日注意勧告をした。中国
で集団感染が発生しても「あっ、そ
うかい」で終わるが、アメリカ国内
で中国人や武漢由来の集団感染が確
認されたら、その被害は日本と比較
してゼロが一つ二つ増えることはす
ぐわかるし、現実もそうだった。ア
メリカは移民の国だ。そのアメリカ
に350万人以上の中国人、中国系

Vol.148

金髪・ブルーアイに 会いに行けない!



1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作物ける。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子ども時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。

Illustration by Kazushige Akita

が
い
る
こ
と
に
な
り
、
当
然
、
日
本
に
い
る
中
国
人
以
上
に
、
中
国
本
土
と
の
家
族
と
し
て
の
往
来
は
頻
繁
に
な
る。

さ
ー
、
ど
う
す
る
? チ
ケ
ッ
ト
購
入
は
出
発
の
5
日
前
く
ら
い
な
ら
安
い
価
格
で
購
入
で
き
そ
う
だ
つ
た。
デ
ッ
ド
ラ
イ
ン
は
1
月
25
日
だ。

そ
し
て
、
1
月
23
日
に
武
漢
で
は
市
民
の
移
動
制
限
が
発
表
さ
れ
た。
市
民
全
員
が
大
人
し
く
市
内
に
い
て
く
れ
ば
良
か
つ
た
の
だ
が
、
後
か
ら
半
分

オレにも 言わせる!

北海道長沼発 ヒール・ミヤイの憎まれ口通信

の市民が逃げたと聞いた。こんな国民を信用するわけにはいかない。

これが決め手になった。今年行くのをヤーマタ。帰国は2月23日くらいになるので、どう考えてもリスクは高い。もし私がサイレント・キヤリアでアメリカ市民に迷惑をかけるのも良くないし、結局は触らぬ限りタダレなしの判断にした。

アメリカの関係各所に今年「は行かない旨を伝えましたが、WV(なぜ)?」なんて緊迫感のない状態だった。

余談だが、武漢で怪しい集団感染が発表されたのは1月15日。1月17日にはユニチャームがマスク製造を24時間で行なうことになったとテレビで放送した。同日、医療の知識はないが、危機管理のアンテナの受診状態が良い妻は、ドラッグストアでマスクを数百枚購入し、その時に次の予約も済ませていた。折しも武漢で移動制限が決まった1月23日には予約したマスクを受け取った。ちなみに私は、その後の5カ月で貴重なマスクを4枚も使うことになった。

いつも中国の怪しい動きにアンテナを張り、判断と行動にスピード感が必要である。特にNHKの受信料を払って物事を選択のできない小作人根性の方たちは、受信料をどうす

るかも一案である。まっ、早い話、NHKをぶっ壊せ! そして妻に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えよう。

FSの逆境で見つけたブリヂストンの商魂

さてここからは、2年前のアメリカ本土話に戻る。参加者は北見市(カーリングの常呂だけ)の農家の息子、妻の従妹の子供(同じく北見市、常呂)、音更町の農家と私の4名になる。私がLAの知り合いの所にいる間、みんなはラスベガスで偽りのエンターテインメントを楽しんでいたのだ。

トラクターばかりだとつまらないので、今回はBS(ブリヂストン)のアメリカ工場に行つて来た。22年前の1998年2月18日にアイオワ州のBSTトラクタータイヤ工場に行つたこともあった。この20年でもれだけ工場が発展したのか興味があり、何度かのメールのやり取りで難色を示す場面もあったが、私と同じ世代のBS森脇さんの英断で参加することができた。

デモイン近郊の工場に行く前にランチでもいかがですか?となった。どのレストランにするかは、日本からの若いBS出向者に任せることにした。日本食にはならないだろうと

思ったが、では、モンゴリアンBBQにしましょう!となった。我われ北海道組は正直言つて「なんだそれ?」状態だった。

導かれてレストランに入ると、12時少し前なのにすごい熱気だった。大繁盛状態の言葉よりお客の興奮度がすごかったのだ。まず皿を取り、数種類ある、湯がいただけの焼きそばの麺を選び、肉や野菜のトッピングとソースを選び、どう考えても料理のセンスがないだろう白人シェフが3人いて、直径2mくらいの熱い鉄板で1分くらい混ぜ混ぜするとハイで上がり。超シンプルな究極のコンベアー式料理だが、これがまたイケてるアジア・テイストなのだ。そうだ、いきなりステーキの社長にこっそり教えよう。

BSは83年にFS(ファイアストーン)のテネシー州にある工場を買収後、88年に本社を含む全世界のFSを手中にした。ただ順調に見えた海外戦略が99年に曲がり角に来了。その年、フォードのSUV車の横転事故が続いたのだ。アメリカのメディアはFSタイヤに欠点があると一方的に報道した。原因はフォードがタイヤ圧をBSの要求よりも低く設定していた。それをBSも認めたことになった。

ところが10年前のトヨタのプリウ

スの時と同じように、アメリカメディアは、この真実を伝えず世論を日本叩きの方向に向かわせた。事実、アメリカにいた時に誰に聞いても「FSが悪い!」と言っていた。つまり、私ごときが知っている情報と3億のアメリカ人の情報に明らかな違いがあるのだ。

そしてBSがすごいのはここからだ。パールハーバー・アタックはアメリカが始めたという真実を言っても、アメリカ人は動かないので、BSはSUV用のFSブランドのタイヤ販売を中止して、日本からボーイング747の貨物機をチャーターしてBSブランドのSUV用タイヤを数カ月間ピストン輸送したのだ。

ただ世代の違いなのだろうか、若いBS社員のなかにはこのような素晴らしい目先の利益だけに走らない地道な地主根性を知らない者もいた。どう考えてもまるまる赤字の業務だが、アメリカ人を納得させるには十分だった。当然、FSは急速に業績が回復した。残念なのはフォードとFSは和解したのに、ほんの数年前までフォードは積極的にBSTタイヤを購入しなかったのだ。

タイヤは命を乗せています。ゴム選びは慎重にしましょう。あつ危ない! 車と激しく振ってる腰は急に止まりません。